

若葉総合高等学校 令和5年度 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科: 外国語 科目: 論理・表現Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組～F組

教科担当者: (小橋亜子)

使用教科書: BIG DIPPER English Logic and Expression II

教科 外国語 の目標: 「情報や考えなどの確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」を育成すること

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標: 英語学習の特質を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発信能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通じて、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合う技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理の構成や展開を工夫し適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	感	記 時 数
		話 (や り 取 り)	話 (さ せ ぶ)	書					
Part1 Lesson1 Building a Basic For Logical Expression 【知識及び技能】 ・現在形・現在進行形:現在の状態、習慣的な動作に関して現在形と疑問文を正しく理解している。 ・過去形・過去進行形:過去の状態、習慣的な動作に関して現在形と疑問文を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたい内容を適切な英語で伝えることができる。 ・日常行うことや、友人など身の周りの人、物事について英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	(指導項目) ・現在形 ・現在進行形 ・過去形 ・過去進行形 (教材) ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 (他) ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	2
Part1 Lesson2 Building a Basic For Logical Expression 【知識及び技能】 ・will ・be going to do を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたい内容を適切な英語で伝えることができる。 ・日常行うことや、友人など身の周りの人、物事について英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	(指導項目) ・will ・be going to do (教材) ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 (他) ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	2
Part1 Lesson3 Building a Basic For Logical Expression 【知識及び技能】 ・英語で状態の継続、経験、完了・結果、動作の継続を表す平叙文と疑問文と否定文を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語で状態の継続、経験、完了・結果、動作の継続を表す平叙文と疑問文と否定文の用法に注意して、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	(指導項目) ・現在完了の用法 ・現在完了進行形の用法 (教材) ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 (他) ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	4
						○	○	○	1

1 学 期	<p>Part1 Lesson4 Building a Basic for Logical Expression</p> <p>【知識及び技能】 ・used toは「現在との対比」、would「個人の感想」を述べることを理解できる。 ・まず、当該の助動詞の意味を確認しておく。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の表現を用いるのかを理解し、述べる事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・used to, wouldの用法 ・助動詞+have+過去分詞の用法</p> <p>【教材】 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・英語で「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の表現を用いるのかを理解している。 ・小学校時代の経験などについて、助動詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面においてused to, wouldを用いて「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の意味を表現する。 ・適切な場面において助動詞+have+過去分詞を用いて、過去の様子の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・学校生活についての表現を習得しようとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>Part1 Lesson5</p> <p>【知識及び技能】 ・英語で動詞、提案、依頼の聞き方や理由の聞き方、述べ方の表現を理解できる。 ・学校生活や教科について英語の表現方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・受け身の表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに対応する。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・be動詞+過去分詞 ・助動詞+be+過去分詞 ・It is said that～</p> <p>【教材】 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・英語で受け身の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・食べ物や文化などについて、受け身を表す表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面においてbe+過去分詞のさまざまな形を用いて受け身の意味を理解して対話を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	2
	<p>Part1 Lesson6</p> <p>【知識及び技能】 ・不定詞の意味上の主語や、S+V+O+to不定詞の用法。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、S+V+O+to不定詞の構文を用いて「…に～させる」「…が～するのを見る」などの意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・不定詞の意味上の主語 ・S+V+O+to不定詞の用法</p> <p>【教材】 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・英語で受け身の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・食べ物や文化などについて、受け身を表す表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面においてbe+過去分詞のさまざまな形を用いて受け身の意味を理解して対話を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	2
	<p>Part1 Lesson7</p> <p>【知識及び技能】 ・不定詞の意味上の主語や、S+V+O+to不定詞の用法。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、完了形不定詞を用いて、述語動詞よりも以前を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・S is said to do / to have done ・enough to do / too...to do</p> <p>【教材】 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・英語で「～だったと言われている」や「～するほど…」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において完了形不定詞を用いて、述語動詞よりも以前のことを表現する。 ・完了不定詞の慣用表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに対応する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
	定期考査					○	○		

<p>Part1 Lesson8</p> <p>【知識及び技能】 ・動名詞の過去、否定、受動態を使い表現できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の好きな活動について、英語で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・動名詞の完了形・受け身・否定 ・動名詞を含む慣用表現</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「～すること」、「～したこと」、「～するのに慣れている」などの意味を動名詞を用いてどのように表現するかを理解している。 ・自分の好きな活動について、動名詞の形を用いて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、～ing, having+過去分詞を用いて各表現を使い、「～すること」、「～したこと」を英語で表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・動名詞を用いた構文に関連して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>2</p>
<p>Part1 Lesson9</p> <p>【知識及び技能】 ・分詞のSV+分詞、SVO+分詞(知覚、使役動詞)を使い表現できる。 ・分詞構文の受動態、否定文の文を正しく理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・野外での活動や気晴らしについて、英語で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・分詞 ・分詞構文</p> <p>【他】 一人1台端末の活用</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「～しに行く」、「…が～しているのを見る」、「～しながら」、「～するとき」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・野外での活動や気晴らしについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、分詞で始まる語句を文の前後に置いて「～しながら」、「～するとき」などを表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・分詞を用いた構文に関連して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
<p>Part1 Lesson10</p> <p>【知識及び技能】 ・&lt;X times + as + 原級 + as&gt;、&lt;比較級+than&gt;の表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「同じくらい〜」、「より〜」「X倍の〜」、「～すればするほど…」などを英語で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・同等比較 ・比較級を用いた比較</p> <p>【他】 一人1台端末の活用</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「2つ以上のものを比較する場合」や「できるだけ〜」といった内容を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、「…と同じくらい〜」「…の2倍の〜」などの意味を(twice+as+原級+as)の構文を用いる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・同等比較・比較級を用いた比較に関連する内容述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p>	<p>○</p>	<p>1</p>
<p>Part1 Lesson11</p> <p>【知識及び技能】 ・&lt;the + ~est / the most &gt; &lt;the + 序数詞 + 最上級 &gt;の表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「最も〜である」「最も〜なものの中の1つ」「何番目に最も〜である」などを英語で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・最上級 ・最上級の内容を表す原級・比較級</p> <p>【他】 一人1台端末の活用</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「最も〜である」や「ほかのどんな〜よりも〜」といった内容を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、「最も〜なものの中の1つ」「何番目に最も〜である」などの意味を、最上級を用いて表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・最上級の物事に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
<p>Part1 Lesson12</p> <p>【知識及び技能】 ・関係代名詞の基本的な用法、who, whose, whom, which, thatの表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「～する人/物」や「人/物」についての補足説明を、関係代名詞を用いて表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・関係代名詞の限定用法 ・関係代名詞の継続用法</p> <p>【他】 一人1台端末の活用</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で名詞を説明する表現について、関係代名詞を表現を用いた文の作り方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を説明する表現を行う。 ・適切な場面において、関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を補足的に説明する表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・最上級の物事に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
<p>Part1 Lesson13</p> <p>【知識及び技能】 ・関係代名詞の基本的な用法、who, whose, whom, which, thatの表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「～する人/物」や「人/物」についての補足説明を、関係代名詞を用いて表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・関係代名詞の限定用法 ・関係代名詞の継続用法</p> <p>【他】 一人1台端末の活用</p> <p>【教材】 ・レッスンブック ・ワークブック ・映像教材 【他】 一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で名詞を説明する表現について、関係代名詞を表現を用いた文の作り方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を説明する表現を行う。 ・適切な場面において、関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を補足的に説明する表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・最上級の物事に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p>	<p>○</p>	<p>1</p>

2  
学期

<p>Part1 Lesson14</p> <p>【知識及び技能】 ・関係代名詞の基本的な用法、who, whose, whom, which, thatの表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「もし～ならば…するだろうに」と事実と異なる仮定を英語で表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>〔指導項目〕 ・仮定法過去の用法 ・仮定法過去完了の用法 〔他〕 ・一人1台端末の活用</p> <p>〔教材〕 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 〔他〕 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「現在や過去の仮定」の話をする場合、どのような表現を用いるのかを理解している。 ・自分の夢などの仮定の話について、英語でコミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、&lt;if + S +動詞の過去形&gt;&lt;if + S +動詞の過去完了形&gt;を用いて、表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・最上級の物事に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 3</p>
<p>Part1 Lesson15</p> <p>【知識及び技能】 ・関係代名詞の基本的な用法、who, whose, whom, which, thatの表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「～ならいいのに」「まるで～のように」「万一～ならば」の意味を表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>〔指導項目〕 ・wish+仮定法、as if + 仮定法 ・If … should ～、if -節のない仮定法 〔他〕 ・一人1台端末の活用</p> <p>〔教材〕 ・LESSONブック ・ワークブック ・映像教材 〔他〕 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「現在や過去と異なる願望」を表す場合や、「まるで～のように」や「万一～ならば」などといった内容を表すには、どのような表現を用いるのかを理解している。 ・自分の夢などの仮定の話について、英語でコミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、&lt;wish + 仮定法&gt;や&lt;as if + 仮定法&gt;や&lt;if … should～&gt;を用いて、表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・願望を表す文などに関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 3</p>

